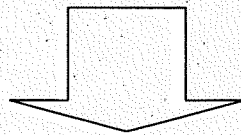


地域包括支援センターをめぐる課題と研修事業の方向性（案）

（問題認識）

1. 市町村が責任主体として、どのような地域包括ケアシステムの構築を目指すのか、ビジョンの構築が求められるのではないかな。  
また、委託の場合、事業への関与が薄くなっているのではないかな。
2. 地域の課題を発見していく仕組みと方策、またその課題を解決していく仕組みと方策が確立出来ていないのではないかな。
3. 三職種がそれぞれの専門性に頼り、組織としてまとまった力が発揮されていないのではないかな。



《研修のポイント》

1. 地域包括ケアの責任主体である市町村が、地域づくりのビジョンをどう描いていくかといった視点からの研修が必要ではないかな。
2. 地域包括支援センターの業務の流れ（予算等の年間事業計画から地域ケア会議等の個別業務までの幅広いもの）が機能的で組織的であれば、人事異動があっても機能していくのではないかな。
3. センター長等研修を主眼に置くのであれば、様々な業務を円滑に進めるマネジメント力（組織、地域、政策等）の習得を目的とした研修を行ってはどうか。